

2025 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工 芸 学 部 : /School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有 : /Available
学域等/Field	/デザイン科学域 : /Academic Field of Design	年次/Year	/3 年次 : /3rd Year
課程等/Program	/デザイン・建築学課程・課程専門科目 : /Specialized Subjects for Undergraduate Program of Design and Architecture	学期/Semester	/後学期 : /Second term
分類/Category	/ : /	曜日時限/Day & Period	/ : /

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number				
科目番号 /Course Number	13160133			
単位数/Credits	4			
授業形態 /Course Type	実習 : Practice			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	ものづくりインターンシップⅠ : Monozukuri Internship I			
担当教員名 / Instructor(s)	/大谷 章夫/桑原 教彰/(塩川 信明) : OHTANI Akio/KUWAHARA Noriaki/SHIOKAWA Nobuaki			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
	○			
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher			
科目ナンバリング /Numbering Code				

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	京都府北部の企業等においてインターンシップを実施する。ものづくり企業の現場等での就業体験から、科学的・工学的知識に加え、生産現場における製品開発やデザインプロセス、建設業での設計プロセスの方法等、大学内では得難いことを学び、専門性、リーダーシップ等からなる「工織コンピテンシー」を実践的に養い、将来の進路選定の知見を得ることを目的とする。
英	

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	府北部地域の企業の現状と課題を理解する。 就業体験によるキャリア形成に取り組む。 専攻分野の知識・技術を育成する。
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 Course Plan			
No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	授業ガイダンス	本科目の概要・進め方について説明を行う。

	英		
2	日	企業研究・守秘義務研修	府北部地域や受け入れ先企業について理解を深める。また知的財産保護の考え方や守秘義務についての研修を行う。 ・応用生物学域の応用生物学課程では、化学薬品、食品関連の会社などが主な受け入れ機関となる。 ・物質・材料科学域の各課程では、化学薬品、材料化学関連製品を製造する会社などが主ば受け入れ機関となる。 ・設計工学域の各課程では、機械、電気部品や設備を製造する会社などが主な受け入れ機関となる。 ・デザイン科学域・デザイン建築学課程では、建設会社、建築設計事務所、デザイン事務所、自治体などが主な受け入れ
	英		
3	日	機関ガイダンス	各受け入れ機関において、取り組み内容や注意事項について説明を受ける。
	英		
4	日	就業体験	各受け入れ機関において、就業体験を行う。 ・応用生物学域の応用生物学課程では、受け入れ機関において化学薬品、食品関連の会社での研究開発、製造、品質管理などの就業体験を行う。 ・物質・材料科学域の各課程では、受け入れ機関において化学薬品、材料化学関連製品での研究開発、製造、品質管理などの就業体験を行う。 ・設計工学域の各課程では、受け入れ機関において機械、電気部品や設備についての研究開発、製造、品質管理などの就業体験を行う。 ・デザイン科学域・デザイン建築学課程では、受け入れ機関において設計業務、現
	英		
5	日	就業体験	各受け入れ機関において、就業体験を行う。 ・応用生物学域の応用生物学課程では、受け入れ機関において化学薬品、食品関連の会社での研究開発、製造、品質管理などの就業体験を行う。 ・物質・材料科学域の各課程では、受け入れ機関において化学薬品、材料化学関連製品での研究開発、製造、品質管理などの就業体験を行う。 ・設計工学域の各課程では、受け入れ機関において機械、電気部品や設備についての研究開発、製造、品質管理などの就業体験を行う。 ・デザイン科学域・デザイン建築学課程では、受け入れ機関において設計業務、現
	英		
6	日	就業体験	各受け入れ機関において、就業体験を行う。 ・応用生物学域の応用生物学課程では、受け入れ機関において化学薬品、食品関連の会社での研究開発、製造、品質管理などの就業体験を行う。 ・物質・材料科学域の各課程では、受け入れ機関において化学薬品、材料化学関連製品での研究開発、製造、品質管理などの就業体験を行う。 ・設計工学域の各課程では、受け入れ機関において機械、電気部品や設備についての研究開発、製造、品質管理などの就業体験を行う。 ・デザイン科学域・デザイン建築学課程では、受け入れ機関において設計業務、現
	英		
7	日	就業体験	各受け入れ機関において、就業体験を行う。 ・応用生物学域の応用生物学課程では、受け入れ機関において化学薬品、食品関連の会社での研究開発、製造、品質管理などの就業体験を行う。 ・物質・材料科学域の各課程では、受け入れ機関において化学薬品、材料化学関連製品での研究開発、製造、品質管理などの就業体験を行う。 ・設計工学域の各課程では、受け入れ機関において機械、電気部品や設備についての研究開発、製造、品質管理などの就業体験を行う。 ・デザイン科学域・デザイン建築学課程では、受け入れ機関において設計業務、現
	英		
8	日	就業体験	各受け入れ機関において、就業体験を行う。 ・応用生物学域の応用生物学課程では、受け入れ機関において化学薬品、食品関連の会社での研究開発、製造、品質管理などの就業体験を行う。 ・物質・材料科学域の各課程では、受け入れ機関において化学薬品、材料化学関連製品で

	英		の研究開発、製造、品質管理などの就業体験を行う。 ・設計工学域の各課程では、受け入れ機関において機械、電気部品や設備についての研究開発、製造、品質管理などの就業体験を行う。 ・デザイン科学域・デザイン建築学課程では、受け入れ機関において設計業務、現
9	日	就業体験	各受け入れ機関において、就業体験を行う。 ・応用生物学域の応用生物学課程では、受け入れ機関において化学薬品、食品関連の会社での研究開発、製造、品質管理などの就業体験を行う。 ・物質・材料科学域の各課程では、受け入れ機関において化学薬品、材料化学関連製品での研究開発、製造、品質管理などの就業体験を行う。 ・設計工学域の各課程では、受け入れ機関において機械、電気部品や設備についての研究開発、製造、品質管理などの就業体験を行う。 ・デザイン科学域・デザイン建築学課程では、受け入れ機関において設計業務、現
	英		
10	日	就業体験	各受け入れ機関において、就業体験を行う。 ・応用生物学域の応用生物学課程では、受け入れ機関において化学薬品、食品関連の会社での研究開発、製造、品質管理などの就業体験を行う。 ・物質・材料科学域の各課程では、受け入れ機関において化学薬品、材料化学関連製品での研究開発、製造、品質管理などの就業体験を行う。 ・設計工学域の各課程では、受け入れ機関において機械、電気部品や設備についての研究開発、製造、品質管理などの就業体験を行う。 ・デザイン科学域・デザイン建築学課程では、受け入れ機関において設計業務、現
	英		
11	日	就業体験	各受け入れ機関において、就業体験を行う。 ・応用生物学域の応用生物学課程では、受け入れ機関において化学薬品、食品関連の会社での研究開発、製造、品質管理などの就業体験を行う。 ・物質・材料科学域の各課程では、受け入れ機関において化学薬品、材料化学関連製品での研究開発、製造、品質管理などの就業体験を行う。 ・設計工学域の各課程では、受け入れ機関において機械、電気部品や設備についての研究開発、製造、品質管理などの就業体験を行う。 ・デザイン科学域・デザイン建築学課程では、受け入れ機関において設計業務、現
	英		
12	日	就業体験	各受け入れ機関において、就業体験を行う。 ・応用生物学域の応用生物学課程では、受け入れ機関において化学薬品、食品関連の会社での研究開発、製造、品質管理などの就業体験を行う。 ・物質・材料科学域の各課程では、受け入れ機関において化学薬品、材料化学関連製品での研究開発、製造、品質管理などの就業体験を行う。 ・設計工学域の各課程では、受け入れ機関において機械、電気部品や設備についての研究開発、製造、品質管理などの就業体験を行う。 ・デザイン科学域・デザイン建築学課程では、受け入れ機関において設計業務、現
	英		
13	日	就業体験	各受け入れ機関において、就業体験を行う。 ・応用生物学域の応用生物学課程では、受け入れ機関において化学薬品、食品関連の会社での研究開発、製造、品質管理などの就業体験を行う。 ・物質・材料科学域の各課程では、受け入れ機関において化学薬品、材料化学関連製品での研究開発、製造、品質管理などの就業体験を行う。 ・設計工学域の各課程では、受け入れ機関において機械、電気部品や設備についての研究開発、製造、品質管理などの就業体験を行う。 ・デザイン科学域・デザイン建築学課程では、受け入れ機関において設計業務、現
	英		
14	日	振り返り	インターンシップで学んだこと等についてグループワークを行い、最終報告会の準備と実習成果報告書（1社につき800字）の作成を行う。
	英		
15	日	最終報告会	対象とした、最終報告会において、自らの学習内容や成果についてプレゼンを行う。

	英		
--	---	--	--

履修条件 Prerequisite(s)			
日	・履修規則別表第 11「福知山キャンパス開講科目履修のために必要な単位数」を習得していること。 ・「学生教育研究災害傷害保険」及び「学研災付帯賠償責任保険」等、傷害と損害賠償責任の両方に対応した保険に加入していること。		
英			

授業時間外学習（予習・復習等） Required study time, Preparation and review			
日	・日報は、毎週、担当教員等へ提出すること。 ・就業体験は、原則として 1 社につき 2 週間となる。		
英			

教科書／参考書 Textbooks/Reference Books			
日			
英			

成績評価の方法及び基準 Grading Policy			
日	・実習中の日報 30% ・実習先からの評定書 20% ・実習成果報告書 30% ・最終報告会の内容 20%		
英			

留意事項等 Point to consider			
日			
英			